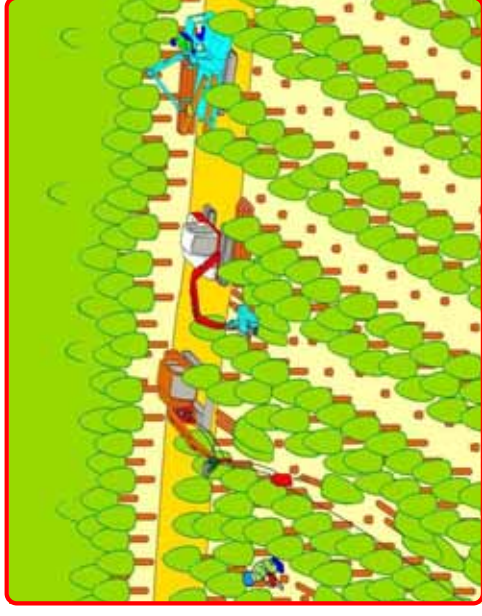


## 伐採木の有効利用に向けた試験的取組について

### 《取組の概要》

- ・平成22年度の試験的取組として、一部の事業地において全伐採木の全幹を搬出、運搬、売却を行い、それぞれの費用等を検証し、今後の事業展開を検討した。
- ・人工林整備事業地5箇所、計5.07haにおいて、高性能林業機械の活用を前提とした間伐を行った。
- ・具体的方法は、列状間伐を基本とし、チェーンソーによる伐倒、高性能林業機械による集材・造材とした。
- ・丸太部分については、森林所有者が費用を負担し、市場で売却していただいた。
- ・その他の端材については、本事業で経費を負担し、チップ材、パレット用材として売却した。
- ・今回の高性能林業機械による取組と同様の作業を高性能林業機械を使用しない場合、低コスト木材生産システムを活用した場合、森と緑づくり事業による一般的な場合の経費を比較した。



高性能林業機械を使用した2残1伐の列状間伐の施業

### 【取組のイメージ図】

